

三つの中核技術に基づく金融ソリューション

Solutions for the Financial Sector Based on Three Core Technologies

金融業界はもっとも早くオンラインシステムを導入し、情報通信技術(ICT)の発展とともに歩んできました。勘定系のシステム化による事務処理生産性の飛躍的向上、ネットワーク拡大と情報系システムの拡充、更に、ICT による新しい金融商品やサービスの創出と、まさに ICT が金融業の質的変容を促しているとも言えます。

金融の自由化による規制撤廃は、この業界に市場原理と自己責任原則、そして市況リスクという新たな課題をもたらしました。また、金融機関でのシステム障害は、その企業の範囲を超えて、他の金融機関や取引先、あるいは消費生活に極めて深刻な影響を及ぼすというシステムリスクも既に現実化しています。金融業界にとって、リスクマネジメントが経営上の最優先課題の一つになってきたと言えるでしょう。

さて、東芝は銀行、証券、保険などの金融業界に対して、ユニークな形での ICT 提案を行ってきました。それは、次のような、当社独自の中核技術を基にしたソリューションによるアプローチです。第一に、長い間市場から高い評価をいただいている OCR(光学式文字読取装置)技術やイメージ処理技術を駆使した帳票の現物・原票処理です。最新の技術によって帳票の自由度は大幅に広がり、高精度で堅牢(けんろう)な画像処理技術と合わせ、銀行の債権管理業務や保険の契約事務などに広く活用されています。第二に、ワードプロセッサ時代から培ってきた最高水準の日本語処理技術や XML(eXtensible Markup Language)技術に基づく、ナレッジマネジメントです。経営資源の効率的運用のため、組織のナレッジをどう集積し活用するかが、ますます重要になっています。第三に、リスクマネジメントの分野です。複合電機メーカーならではの取組みとして、原子力分野で培ってきた高度なデータ解析技術や数値シミュレーション技術を基に、金融分野でのリスクマネジメントへの応用を提案しています。また、ネットワーク社会に潜在する、従来と異なる種類のリスクに対処する方法論を開発し、実践してきています。

この特集では、これらの3種類の中核技術に基づく各種金融ソリューションを取り上げて解説しています。皆さまのご参考になれば幸いです。



落合 正雄
OCHIAI Masao